

保護者記入欄	保育関係施設名	児童氏名	認定者番号※既に認定済みの場合のみ記入
	受診者と児童との続柄 ※いずれかに○ 父・母・子 祖父・祖母 その他() ※祖父・祖母・その他は同居の場合のみ必要		

※ 複数の児童を申し込まれている場合、全ての児童氏名を記入してください。診断書(意見書)は保護者1人につき1部の提出で結構です。
 ※ 現在の施設を継続する場合の保育関係施設名は継続する施設を、新規で申し込まれる場合は第1希望の施設を記入してください。

診 断 書 (意 見 書)

(保育関係施設利用確認用)

〔診断書(意見書)の目的〕

この診断書(意見書)は、保育の実施を希望する児童の保護者が、傷病等により家庭において必要な保育を行うことが困難であることを市が確認するための書類です。

※ 必要事項を記入または該当するものに○を付けてください。

医療機関記入欄	受診者氏名		生年月日	年 月 日	
	受診者住所	いちき串木野市		性別 男・女	
	傷病名		初診年月日	年 月 日	
	傷病の経過・治療状況及び所見				
	入院又は治療・療養・静養に要する期間	入院	年 月 日 ~	年 月 日	日まで予定
		通院	年 月 日 ~	年 月 日	日まで予定
		通院頻度	週 回	及び 月 回	
		療養・静養	年 月 日 ~	年 月 日	日まで予定
	現在の状態からの医学的見地 ※該当する番号を○で囲み、特記すべきことがあるときはご記入ください。	(小学校就学前の児童の育児)			
		1. 特段の制限はなく、育児を行うことは可能である。			
		2. 症状の改善のためには、週2日以上育児を休むことが望ましい。			
		3. 症状の改善のためには、週4日以上育児を休むことが望ましい。			
4. 育児を行うことは非常に困難である。					
(特記事項)					
(就労の制限)					
1. 通常の職種に就労は可能である。					
2. 精神的な負担が軽い職種に就労は可能である。					
3. 体力的な負担が軽い職種に就労は可能である。					
(特記事項)					
(介助状況)					
1. 基本的に日常生活は営める(介助不要)。					
2. 基本的な日常生活は営めるが、入浴等の一部介助が必要である。					
3. 立ち上がりや歩行が安定せず、排泄・入浴等の一部介助が必要である。					
4. 起き上がり、寝返りが自分では難しく、排泄・入浴等の一部介助が必要である。					
5. 入浴・排泄・衣服の着脱等多くの日常の生活行為に全面的な介助が必要である。					
6. 日常生活全般において、全面的な介助が必要である。					
(特記事項)					

上記のとおり診断します。

診断書作成日： 年 月 日
 医療機関名：
 所在地：
 医師名：
 電話番号：